



北原 ゆうじ 活動報告

発行 No.39

発行月：2025 年 10 月

発行者：北原ゆうじ後援会事務局

【連絡先】

〒312-0063

ひたちなか市田彦 998-5

TEL：029-273-1815

FAX：029-275-1680

議員活動10年を迎えて～御礼と感謝～

常日頃より皆様方の温かいご指導・ご支援に心より感謝申し上げます。本年10月末をもちまして、議員としての活動も丸10年を迎えることとなりました。この間に賜りました多大なるご厚情に、改めて深く感謝申し上げます。今後も初心を忘れず全力で活動が続けてまいります。

ひたちなか市議会第3回9月定例会において、一般質問および2024年度決算に係る集中審査に臨みました。一般質問の項目および内容につきましては、本活動報告P3～5に掲載しておりますのでご一読いただければ幸いです。今後も、課題解決に向けた取組みを進めるとともに、皆様方の声を一つでも多く市政に反映し、誰もが働きやすく住みよいまちのさらなる実現をめざしてまいります。引き続きのご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

北原祐二



浅野さとし衆議院議員との門頭挨拶活動の様子

Pick Up ピックアップ ①

地元の夏祭りで地域の皆さんと交流

7月26日(土) 地元(西原自治会)の夏祭りが開催されました。開催の一週間前からステージやテントの設営等に携わり、当日は「金魚すくい」の運営も担当しました。



祭り会場の事前準備にて



祭り当日の金魚すくいの様子



事前の準備や当日の運営等を通じて、地域の方々と交流を深めることができ、とても充実した時間を過ごさせていただきました。また、子どもたちの笑顔にふれることもでき、夏の楽しいひと時となりました。

Pick Up ピックアップ ②

《文教福祉委員会》

不登校児童生徒への支援に向けて現地調査実施

8月1日(金) ひたちなか市教育研究所にて、不登校の現状や考えられる要因、段階ごとの対応策について説明を受けるとともに、あわせて、教育研究所内にある教育支援センター（いちょう広場）の現地調査を行ないました。



ひたちなか市教育研究所前にて



いじめ・不登校相談センターにて



質疑応答の様子



いちょう広場現地調査の様子



今回の説明や現地調査を通じ、不登校の未然防止や早期発見には、日々の丁寧な見守りや気づきが大切であることを改めて感じました。誰もが安心して通える学校づくりに向け、議会としても力を尽くしてまいります。

2025年第3回ひたちなか・東海広域事務組合8月定例会

8月7日(木) 第3回ひたちなか・東海広域事務組合8月定例会が開催されました。定例会では7件の議案に対する審議を行ない、いずれも提案の通り可決しました。

議案事項（7件）

- | | | | |
|---|------|--|------|
| ・ 2024年度ひたちなか・東海広域事務組合
一般会計決算認定について | (1件) | ・ 2025年度ひたちなか・東海広域事務組合
常陸那珂公共下水道事業会計補正予算
<第1号>について | (1件) |
| ・ 2024年度ひたちなか・東海広域事務組合
一般廃棄物処理事業特別会計決算認定について | (1件) | ・ 高規格救急自動車購入売買契約の締結
について | (1件) |
| ・ 2024年度ひたちなか・東海広域事務組合
消防事業特別会計決算認定について | (1件) | ・ 消防ポンプ自動車購入売買契約の締結
について | (1件) |
| ・ 2024年度ひたちなか・東海広域事務組合
常陸那珂公共下水道事業会計決算認定に
ついて | (1件) | | |

Pick Up ピックアップ ③

令和7年第3回9月定例会にて一般質問登壇



後援会などからの傍聴ならびに、たくさんの方々から激励をいただきました。ありがとうございました。
質問した内容は下記の4項目です。その中から、3つの質問と答弁について掲載いたします。

一般質問項目

1. 持続可能な都市づくりについて

- (1) 立地適正化計画を踏まえた将来都市像について 【市長・企画部 答弁】
- (2) 人にやさしい歩道づくりについて 【都市整備部 答弁】
- (3) 柔軟で持続可能な移動手段について 【企画部 答弁】

2. 市道の整備について

- (1) 東石川高野線について 【都市整備部 答弁】

3. 環境行政について

- (1) バイオマス利活用について 【市民生活部 答弁】
- (2) 太陽光発電設備を活用した児童・生徒への環境教育について 【企画部 答弁】

4. DXの推進について

- (1) デジタル郵便サービスの導入について 【総務部 答弁】
- (2) 自治会におけるデジタル回覧板について 【市民生活部 答弁】



(1) 柔軟で持続可能な移動手段について

質問 本市は、最上位計画である第3次総合計画をはじめ、都市計画マスタープランなど、関連計画との整合を図り、連携しながら『ひたちなか市地域公共交通網形成計画』を推進している。将来のまちづくりを見据え、持続可能な公共交通の実現に向け着実に計画が進められていると認識している。しかし市民の方々からは、基本交通や生活交通について、運行本数やダイヤの見直しなど、さらなる改善を求める声を多くお聞きする。このような市民の声を踏まえると、公共交通の改善に加え、日常生活の中で誰もが利用しやすい

柔軟な移動手段を確保することも、重要な視点ではないかと考える。水戸市では、2023年4月からシェアサイクルサービスを開始し、現在、ステーション数や台数を拡大している。まちなか回遊性の向上や、バスを降りた後の移動手段の補完、生活圏内におけるラストワンマイルの課題解消に役立っており、非常に参考になる事例と受け止めている。そこで、シェアサイクルを活用した移動手段についての所見を伺う。

答弁 シェアサイクルとは、まちなかに設置された自転車の貸出・返却ステーションから、好きな時に自転車を借り、別のステーションに返却できる新しい交通サービスである。一般的にシェアサイクルを持続可能な仕組みとするためには、観光客から日常使いまで幅広く利用者を確保し、事業の採算性を高めることが必要と言われている。シェアサイクルの利点としては、借りた場所に戻る必要がなく返却できるため、目的地まで自転車で乗りつけ、利用後は返却ステーションを自由に選べるという使い方が可能になる。一方、懸案事項としては、自転車やステーションの維持に要する管理費を含めた事業採算性の問題や、近年、自転車と歩行者との事故が増加傾向にあることから、ヘルメットの着用ルールや事故時の補償など、安全対策の検討も必要である。本市における導入の可能性を考えてみると地理的特性としては、平坦な地形が広がり、極端な高低

差がなく、自転車で移動しやすい環境にある。市内でレンタルサイクル事業を実施している事業者の2024年度の利用状況を確認したところ、那珂湊駅および勝田駅周辺で実施しているが、県外在住者の利用が9割近くを占めており、観光利用が多いと推察している。しかしながら、市内には多くの人が訪れるまたは通う場所として、大型商業施設、大手企業の工場、高等学校等が立地しており、観光利用だけではなく、通勤や通学においても潜在需要が考えられるが、現時点において需要把握は行っていない。今後については、先進事例の情報収集や市・公共交通活性化協議会における意見聴取などを通して、潜在需要の把握、さらに近隣自治体との連携、導入の効果や持続可能な仕組み等について、調査・研究を進めたいと考える。

(2) 東石川高野線について

質問 東石川高野線は、都市計画事業および土地区画整理事業により整備され、令和5年3月末に全線開通した。開通から約2年半が経過し、周辺道路における交通の分散や六ツ野スポーツの杜公園へのアクセス性の向上、通勤・通学の利便性向上などの効果が着実に現れている。整備時に推計された交通量は、勝田佐野線および東石川長砂線の実績を基に、一日あたり10,313台と見込まれており、現在は、徐々に交通量が増加し、見込み台数に近づくとともに利便性の向上が図られていると感じている。しかしながら、

朝夕の時間帯には、工業団地中央交差点付近で、はしかべ方面から高野方面に向かう車の右折時の安全性や、円滑な交差点通行など、改善を求める要望の声が多く寄せられている。今後は周辺で新たな企業の本格稼働も予定されており、さらに交通量の増加が見込まれる。安全で快適な道路および交差点環境の一層の整備を期待する。そこで、工業団地中央交差点付近の現在の交通状況の把握、および、右折信号の設置を含む交差点改良について、今後の交通量を踏まえた市としての考えを伺う。

答弁 工業団地中央交差点付近の、現在の交通状況については、主に勝田第2工業団地に立地する企業の通勤時間帯において、沿道やその周辺から東石川高野線へ断続的に車両が流入し、高野方面から本交差点に向かう車線に交通が集中することで、混雑や渋滞が発生している状況と認識している。このような中、本交差点周辺においては、今後、新たな企業の本格稼働による雇用の創出に伴い、交通量の増加が見込まれている。このことから、今年度実施する都市計画基礎調査においては、市内全域を俯瞰し、すでに交通渋滞が課題となっている路線のほか、自動車交通の流れが変化することが予想されるエリアなど、10地点の主要な幹線道路や交差点を選定し、交通量調査を

実施することとしており、本交差点についても調査対象としたところである。このため、右折信号の設置を含む交差点改良など、本交差点における今後の対応については、前述した交通量調査のほか、渋滞長や信号表示のサイクルタイムなどの実態調査結果を踏まえ、茨城県警察と協議を進めていく。また、本交差点から高場陸橋方面に向かう、東中根高場線においても、朝夕の通勤時間帯に混雑や渋滞がみられる状況となっているので、新たな企業の本格稼働による交通流の変化を見据えながら、適宜、必要な実態調査を追加するなどして、適切な対応策を講じていく。さらに、交通の分散を図るため、公共交通や自転車の利用促進なども重要と考える。

(3) デジタル郵便サービスの導入について

質問 昨年10月から郵便料金が改定され、全体で約3割値上げをした。背景には、郵便物の取扱量の減少や人手不足、インフラ維持や老朽化設備の更新などが挙げられている。郵便サービスは、私たちの日常生活に欠かせないインフラの一つであり、料金改定は市民生活にも影響を与えている。行政業務に目を向けると、住民個人に通知する際、多くの場合、紙の郵送を基本としている。本市の郵送経費を調べてみると、料金改定後から今年7月までの経費合計は約6,650万円かかっており、前年の同期間と比較すると約1,037万円増加している。本市の財政への負担はと

ても大きいと感じている。こうした中、全国では、デジタル郵便サービス『スマートポスト』を導入する自治体が増えている。これは、マイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用し、自治体からの通知を確実に住民が保有する端末に届ける仕組みで、コスト削減に加え、自治体の業務の効率化や住民の利便性の向上といったメリットもある。限られた財源を有効活用するためには、効果的な策ではないかと考える。そこで、住民通知対応の現状と課題、および、デジタル郵便サービスの導入に関する所見を伺う。

答弁 本市における行政手続き等に係る住民への通知については、郵送を主要な手段としており、通常は総務課で集約し、来庁した郵便局の集配担当者に受け渡し、送達をしている。大量の通知を送達する際は、各担当課で集約し、郵便局に直接持ち込む場合もある。また、大量の通知を送達する際、郵送コスト削減のため、郵便番号ごとに区分して差し出す「区分郵送割引」等の活用にも努めている。しかし、今般の郵便料金の改定により、郵送経費は増加の傾向にあることから、行政運営における課題の一つと受け止めている。デジタル郵便サービス「スマートポスト」については、民間事業者が提供するもので、このサービスの利用を希望する住民が、専用のスマートフォンアプリを取

得し、自身と自治体のマイナンバーの情報を紐づけることにより、デジタル化した自治体からの通知等をスマートフォン上で受け取るものである。しかし、郵便サービスを導入した場合においても、マイナンバーカードを取得していない方や、本サービスの利用を希望しない方への通知については、引き続き郵送で対応となる。このため、本サービス導入後においては、本サービスのランニングコストの経費と合わせて、郵便物の郵送料も見込む必要がある。このことを踏まえると、郵送に係る経費の削減が、本サービスの導入により、十分図られるのか、他の自治体の先行事例等を注視していく必要があると考える。

Pick Up ピックアップ ④

2024年度決算に係る集中審査を実施

9月17日(水)から24日(水)の期間、決算審査が行なわれ、2024年度の予算執行実績の把握や課題等について確認しました

2024年度ひたちなか市決算額

<一般会計>	歳入：657億2,296万4千円 (前年度比 2.4%増)
	歳出：626億3,838万3千円 (前年度比 1.7%増)
<特別会計>	歳入：326億5,738万9千円 (前年度比 2.6%増)
	歳出：308億3,791万9千円 (前年度比 1.9%増)
<合計>	歳入：983億8,035万3千円
	歳出：934億7,630万2千円
(※特別会計は水道事業会計・下水道事業会計を除く)	
<水道事業>	収入：36億9,684万1千円 支出：31億9,268万5千円
<下水道事業>	収入：42億7,084万5千円 支出：35億681万4千円



決算審査での質疑の様子



2024年度ひたちなか市一般・特別会計および水道・下水道会計の決算認定16件について審査を終え、9月26日(金)の本会議において、すべて可決されました。審査の中では、生活や地域の発展につながるよう、意見や要望を申し上げました。これらが今後の事業に一つでも反映され、より安心して暮らせる環境、働きやすい環境につながるよう、引き続き丁寧に行政へ働きかけてまいります。

2025 年 9 月定例会報告

9月2日(火)～26日(金)の25日間に渡り、第3回9月定例会が開催されました。定例会では42件の報告及び議案に対する審議を行ない、いずれも提案の通り承認、同意及び可決しました。

報告事項 (8 件)

- ・ 外郭団体の2024年度決算について (2件)
- ・ 2024年度上下水道事業会計継続費精算報告について (2件)
- ・ 2024年度決算に基づく一般会計等健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告について (1件)
- ・ 専決処分の報告 (1件)
 - ※ 損害賠償の決定について (2件)
 - ※ 2025年度ひたちなか市一般会計補正予算<第2号>について (1件)

議案事項 (34 件)

- ・ 2024年度ひたちなか市一般・特別会計決算認定について (16件)
- ・ 2025年度ひたちなか市一般会計補正予算<第3号>について (1件)
- ・ 2025年度ひたちなか市介護保険事業特別会計補正予算<第1号>について (1件)
- ・ 2025年度ひたちなか市下水道事業会計補正予算<第1号>について (1件)
- ・ ひたちなか市乳児等通園支援事業に関する条例制定について (1件)

審議案件

- ・ ひたちなか市職員の育児休暇等に関する条例及びひたちなか市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について (1件)
- ・ 旧平磯小学校B棟及び屋内運動場解体工事請負契約の締結について (1件)
- ・ 総合体育館屋根及び外壁改修工事請負契約の締結について (1件)
- ・ 市毛小学校給食室改修建築工事請負契約の締結について (1件)
- ・ 2025年度庁用パソコン購入売買契約の締結について (1件)
- ・ 消防ポンプ自動車購入(第6分団) 売買契約の締結について (1件)
- ・ 市毛小学校給食備品購入売買契約の締結について (1件)
- ・ あらたに生じた土地の確認について (1件)
- ・ 字の区域の変更について (1件)
- ・ 市道路線の認定、廃止及び変更について (1件)
- ・ 人権擁護委員の候補者推薦について (4件)

※定例会内容については右記の2次元コードなどからご確認ください。

ひたちなか市公式ウェブサイト

https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/g_katsudo/1001806/index.html



編集後記

暑さも少しずつ和らぎ秋の気配が深まってきました。日中はまだ汗ばむ日もありますが、水分補給や体調管理には、引き続き気をつけて過ごしたいと思います。また、季節の変わり目は気候の変化も大きく、急な雨や冷え込みもあり、様々な自然災害に備えることも必要です。日頃からの少しずつの準備や確認を心がけておくと、安心して毎日を過ごせます。さらに、自分だけでなく、家族や周りの人と一緒に備えを確認したり話し合ったりすることも大切です。小さな工夫や積み重ねが、いざという時の心の支えになり安心感につながります。無理のない範囲で少しずつ意識を高めながら、穏やかで元気に本格的な秋を迎えたいと思います。

皆様からのご意見・ご要望をお寄せください

この『活動報告』には、皆様方からのご意見・ご要望など、お寄せ頂く欄を設けております。本用紙をご活用頂き、郵送またはFAX・メール等でご連絡ください。また、送付宛先欄の2次元コードからもご意見・ご要望をお寄せいただくことができます。

社内便▷(佐)組合後援会事務局経由 北原行き ※必ず封筒に入れてください。

郵便▷〒312-0063 ひたちなか市田彦998-5

FAX▷029-275-1680 (Astemo労組 佐和支部内)

メール▷yuji.kitahara.ye@hitachiaSTEMO.com

ご意見・ご要望などをお寄せください。



《キリトリ》

(佐) 組合 後援会事務局経由 北原 行き

ご意見・ご要望

お名前:

ご住所:

TEL:

※ ご提供いただいた個人情報は「北原ゆうじ」市政相談窓口の用途以外には使用致しません。

SNSへの
アクセスは
こちらから!!



仕事の不満や不安、悩まないでお電話を
何でも労働相談
0120-154-052